

「自動車エレクトロニクス」小特集にあたって

坂井 範秀*
Norihide Sakai

自動車が登場してから120数年、時代とともに自動車への要求が多様化してきています。

より速く・より快適な空間を求める「快適・利便性」、事故時の搭乗者の安全確保から事故自体の発生防止に進化してきている「安全性」、昔の大気汚染から近頃の地球温暖化に代表される「環境問題対応」、原油の枯渇・高騰による「エネルギー問題対応」、レアメタルに代表される「資源問題対応」などです。

特に環境問題・エネルギー問題に対応するため、燃費の良い車やハイブリッド車、電気自動車などが自動車メーカー各社から発売され始めました。

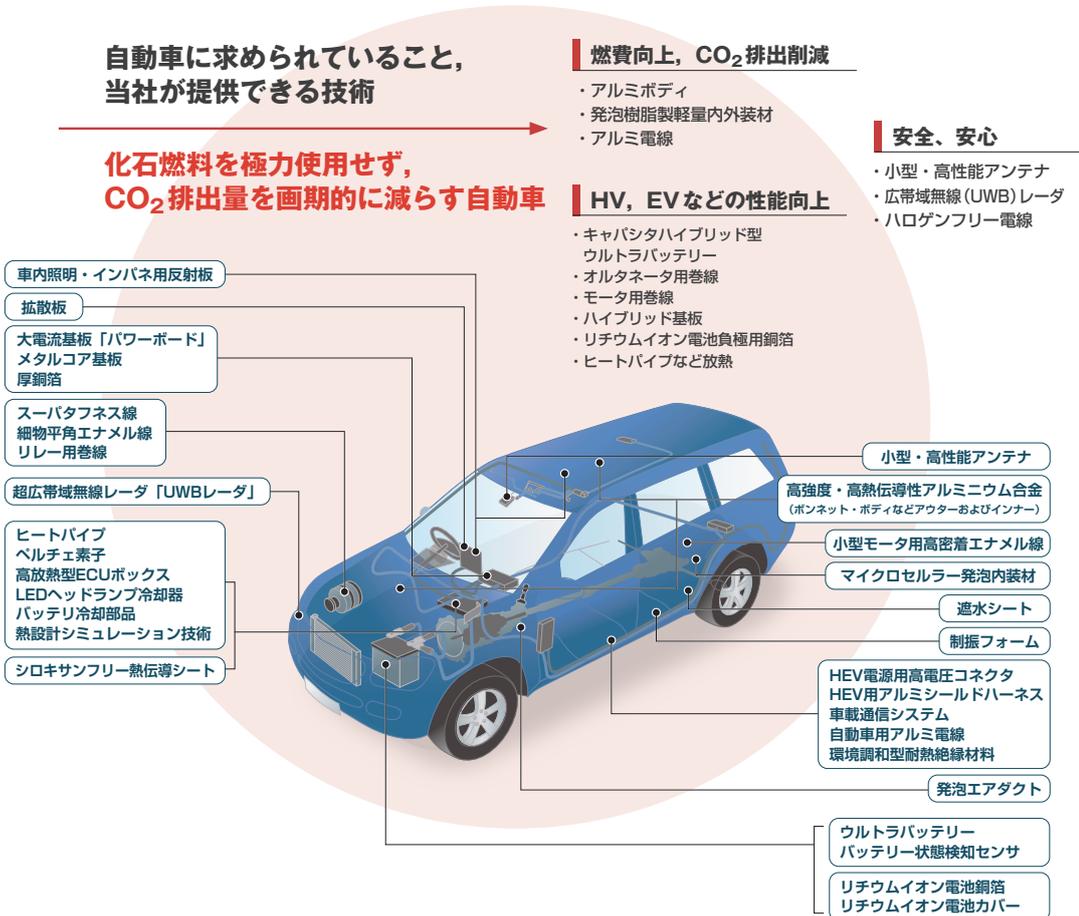
一方、BRICSを初めとする新興国ではより低コストの車の需要が拡大してきており、前述の5つの多様化した要求に対応しながらの低コストが現在の自動車に求められている姿です。

古河電工グループは1884年の創業以来、幅広い素材をベースに技術開発・製品開発を行ってきました。銅合金・アルミ合金・高分子材料を中心とした素材技術、電気・無線・光を使った通信技術、放熱・熱輸送・蓄熱などの熱ソリューション技術、電力を送る・蓄える・変換する電力インフラ技術などです。

古河電工グループの2013～2015年度の3ヶ年中期計画では、注力する市場の一つに自動車市場を掲げています。本号では、現在取り組んでいる自動車向け技術開発・製品開発についてご紹介致します。

古河電工グループが保有するこれらの技術を進化させ、組み合わせることによって、求められている自動車の実現に大きく貢献できると考えています。

関係者皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



* 研究開発本部 自動車電装技術研究所 所長